



情報提供日	平成 30 年 7 月 30 日 (月)		
問合せ先	つちのこ歴史研究会開催実行委員会		
事務局	今井友樹		
電話	090-7226-3806	メール	imai@studio-garret.com
役場問合せ先：東白川村総務課企画係 樋口 Tel.0574-78-3111			

※問合せ先はつちのこ歴史研究会でメールアドレスのみでお願いします。

東白川の住民にとって“ツチノコ”とは？

いとうりょうへい 伊藤龍平氏講演「ツチノコのいま、むかし」

東白川村では昭和初期からたびたびヘビのようなトカゲのような不思議な生き物『つちのこ』が目撃されています。いまだ発見されないツチノコの関心は私たちの興味をひきつけてやみません。そもそもツチノコとはいったい何なのでしょう？そしてツチノコを私たちはどう捉えてきたのでしょうか？

世界で唯一！？のツチノコ民俗学研究者・伊藤龍平氏が日本全国の膨大なツチノコの民間伝承や歴史資料、さらには漫画などを交えた講演会を開催します。

記

1. 日 時 平成 30 年 8 月 19 日 (日) 14 : 00 ~ 18 : 00
2. 場 所 「はなのき別館・ふれあいホール」(住所：加茂郡東白川村神土 606)
3. 主 催 つちのこ歴史研究会開催実行委員会
4. 講演者 伊藤龍平氏
5. 次 第 別紙チラシあり

【講演の部】 14 : 00 ~ 16 : 00

基調報告_今井友樹

講演_伊藤龍平

ディスカッション、質疑応答

【交流の部】 16 : 30 ~ 18 : 00

交流会 (レストラン味彩)

【参 考】

1. 目的

東白川村はツチノコ目撃情報が日本一と言われており、それを利用した村おこしが平成元年から行われてきました。毎年5月3日の「つちのこフェスタ」には全国から何千にという人が集まります。

観光資源として親近感のあるツチノコは東白川村民にとってどんな存在なのか。人・村・時代背景などを交えて民俗学の視点で俯瞰的に見た「東白川村とつちのこ」について伊藤氏にお話していただき、過去を捉えなおし、村の将来像を模索する励ましとしたい。

講演会の開催に当たり、「つちのこフェスタ実行委員会」が後援、「東白川村がんばる地域づくり補助金」を活用して開催されます。

2. 伊藤龍平 (いとう・りょうへい)

1972年、北海道生まれ。國學院大學文学部卒業。國學院大學研究科博士課程前期修了。2003年、國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了。「近世俳諧説話の研究」で博士(文学)。現在は台湾・南台科技大学助理教授。専門は口承文芸、伝承文学。

日本全国の膨大なツチノコの民間伝承や歴史資料を研究しており、著書に『ツチノコの民俗学』(青弓社・2008年)がある。

3. つちのこ歴史研究会開催実行委員会

伊藤龍平氏講演会を開催するに当たり結成された団体。代表は今井友樹氏。

4. 今井友樹 (いまい・ともき)

1979年、東白川村生まれ。株式会社「工房ギャレット」代表。記録映画監督。

日本映画学校(現・日本映画大学)卒。2004年に民族文化映像研究所に入所。

2014年に劇場公開作品・長編記録映画「鳥の道を越えて」を発表。

2016年より、つちのこの記録映画を製作中(2020年完成予定)。

5. 東白川美しい村づくり委員会

官民協働の村づくり事業の一環で公募により集まった方々で構成され、平成28年3月から月1回の委員会を開催し、地域を元気に盛り上げるために活動しています。

○委員/14人(村在住者、移住者など)

※委員会には自由に参加可能。月1回の委員会には12~13人程度が集まる。

○活動/視察研修、集落あるモノ探し(集落をよく知る案内人の方に話を聞きながら地域の良い所探しをする)、がんばる地域づくり補助金のプレゼン&審査など

★「東白川村がんばる地域づくり補助金」

<補助対象> 団体

<補助要件> 村や地域の活性化寄与する団体で今までにない新しい活動に対して交付

<補助額> 補助対象経費(限度額20万円)